

TAKE
FREE

日本遺産とつつじのまち 

TATEBAYASHI TRIP



館林市観光ガイドブック



令和元年度認定

里沼 (SATO-NUMA)

「祈り」「実り」「守り」の沼が磨き上げた館林の沼辺文化



B

T

25体の狸像（茂林寺）



館林の狸は、「他を抜く」という精神で毎日努力し、社会に役立ち、商売繁盛、家族仲良く、福を分け合う狸と言われている。C-3

ここにしかない光景。館林市。

日本遺産のまち

館林の里沼は「里沼 (SATO-NUMA) — 「祈り」「実り」「守り」の沼が磨き上げた館林の沼辺文化—」として、文化庁から日本遺産に認定されています。



ガーデンシティ

館林は花と緑あふれる自然豊かな沼辺のまちです。

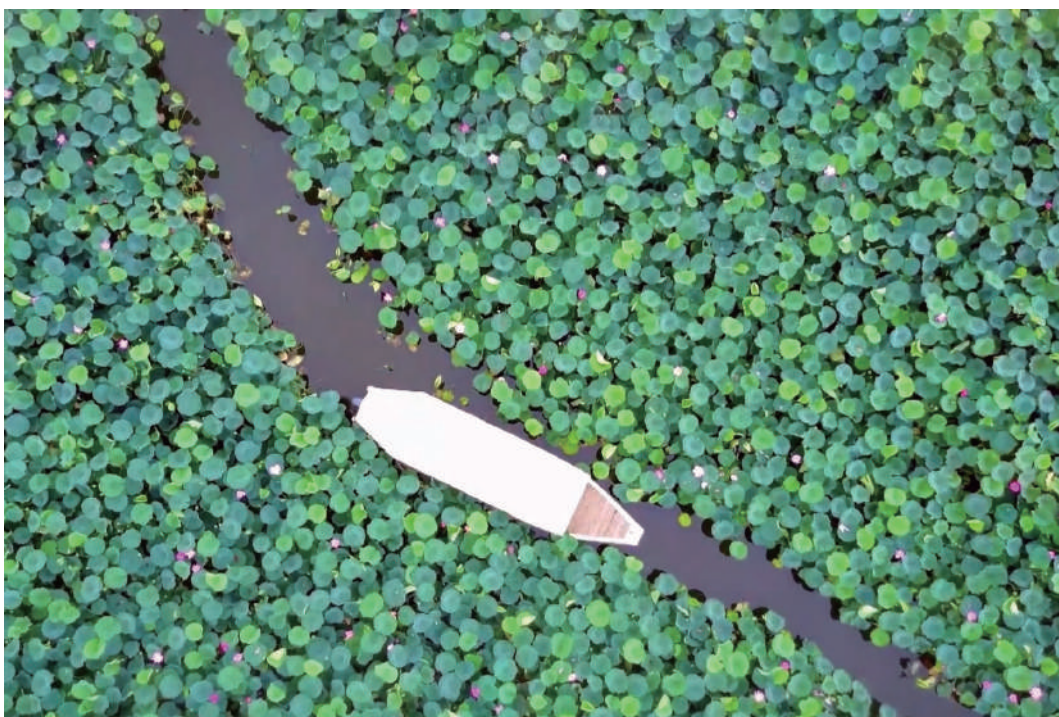
次々に開花する色とりどりの花々や鳥のさえずりの中、リラックスして観光することができます。



A

E T

花ハス遊覧船（城沼）



夏の城沼や古城沼では自生の手ハスがピンクの花を開き、優雅に水面を彩る。遊覧船に乗って、ジャングルクルージングのように手ハスの葉の中を突き進んでいく光景は館林でしか見ることのできない夏の風物詩。 **B-4**

CONTENTS

令和元年度日本遺産認定 館林市の「里沼」	P.03
国指定名勝 躑躅ヶ岡（つつじが岡公園）	P.05
アニメツーリズム	P.07
女子旅	P.08
産業観光	P.09
四季の移ろいを感じる街	P.11
祈りの沼 茂林寺沼エリア	P.13
実りの沼 多々良沼エリア	P.15
守りの沼 城沼エリア	P.17
里沼を感じる観光体験	P.20
里沼から宇宙へ	P.21
EVENT CALENDAR 歳時記	P.23
モデルコース 春・夏・秋・冬	P.25
グルメカタログ	P.27
館林市広域マップ	P.29



日本遺産

JAPAN HERITAGE

館林市の「里沼」

「祈り」「実り」「守り」の沼が磨き上げた館林の沼辺文化

関東の山々が一望できる館林では、今も多くの沼と出会うことができる。館林の沼は人里近くにあり、「里山」と同様に人々の暮らしと深く結び付き、人が沼辺を活かすことで良好な環境が保たれ、文化が育まれてきた「里沼(SATONUMA)」であった。館林の里沼は、沼ごとに特性が異なる。その歴史を紐解くと、里沼の原風景と信仰が共存する茂林寺沼は「祈りの沼」、沼の恵みが暮らしを支えた多々良沼は「実りの沼」、館林城とつつじの名勝地を守ってきた城沼は「守りの沼」と言い換えることができる。館林の里沼を辿れば、それぞれの沼によって磨き上げられた館林の沼辺文化を味わい、体感することができる。



もりんじぬま

祈りの沼 茂林寺沼

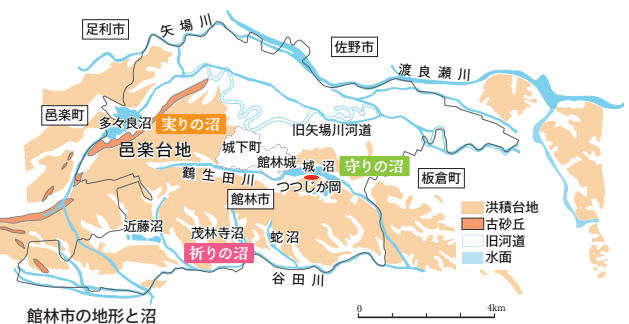
群馬県指定天然記念物
「茂林寺沼及び低地湿原」と動植物
古刹「茂林寺」と「分福茶釜」
人々の暮らしを支える里沼機能
※「茂林寺沼エリア」の紹介は(→P.13)。



つつじが岡公園に隣接した里沼リゾート
「Hotel KOMORINU」を拠点にまわろう。

つつじが岡公園に徒歩8分、車で2分と隣接するKOMORINUでは、桜、花ハス、白鳥が佇む風景を楽しめます。レストラン、公衆浴場、トレーラーキャビン、キャンプ場、バーベキュー場も併設、非日常体験をお楽しみください。

里沼リゾート ホテル KOMORINU ☎0276-60-4131
館林市花山町 2916-4
営業日時等はこちら⇒<https://www.hotel-komorinu.com/>



館林市の地形と沼



日本遺産とは
観光振興及び地元住民
に地域の魅力を再認識
してもらうことを目的に歴史
や文化を日本遺産として
文化庁が認定している。



じょうぬま 守りの沼 城沼

城沼を天然の要害とした館林城
推定樹齢800年のつつじを守り続ける躑躅ヶ岡
明治維新まで禁漁とされ、守られてきた沼
※「城沼エリア」の紹介は(→P.17)。

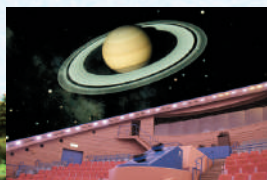
わくわく里沼ビレッジ SATO- NUMA

わくわく里沼ビレッジは城沼周辺の観光
スポットやお食事処などの魅力を体験
できるお勤めの周遊エリアです。

館林市市有施設共通パスポート

- ①向井千秋記念子ども科学館
- ②田山花袋記念文学館
- ③つつじ映像学習館

上記3施設の入館料がお得になります。
個人700円 団体(20名以上)600円



※「向井千秋記念子ども科学館」
の紹介は (P.21)



※「田山花袋記念文学館」
の紹介は (P.18)



※「つつじ映像学習館」
の紹介は (P.6)

たたらぬま 実りの沼 多々良沼

巨人伝説や製鉄伝説にちなむ「たたら」
大谷休泊の開発(植林・休泊堀)と麦作
近代製粉から食品(発酵)産業への展開
※「多々良沼エリア」の紹介は(→P.15)。

江戸から令和へ

四百年続く悠久の躑躅

国指定名勝

躑躅ヶ岡

(つつじが岡公園)

B-4

つつじが岡公園は古くから「躑躅ヶ岡」と呼ばれ、つつじが植栽されています。また、花見の歴史も古く江戸時代には、時の館林城主による豪華絢爛な花見の宴が催されたと記録にあります。

昭和9年(1934)には国の文化財「名勝」に指定されました。

地元では、真っ赤につつじが開花する様を「燃えているよう」と表現し、つつじが岡公園のことを「花山」と呼んでいます。

勾当内侍遺愛のつつじ

新田義貞が、妻(勾当内侍)のために植えたと伝えられるヤマツツジの巨樹です。
江戸時代初期、当時のお殿様であった榊原忠次が領内からこの地に移植してきました。
推定樹齢は800年。花色は紅色で、開花期には燃えるような壮観を呈します。

つつじが岡公園内 花ごよみ

※天候などにより開花時期が前後する場合があります。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ロウバイ	梅	桜	つつじ	花菖蒲	アジサイ	花ハス			彼岸花	紅葉	寒桜

Tatebayashi

つつじまつり

Tsutsuji

Festival

100余品種約1万株が咲き誇る

つつじの開花に合わせて開催する「花のまち館林」のメインイベント。
期間中は、名木つつじのガイドによる無料案内をはじめ、さまざまな催しが開催されます。

- 入園料：咲き始め 300円
見頃 600～1,000円 (20名以上500～800円)
見頃過ぎ 200円
中学生以下は無料



つつじが岡公園ガイド

- お得なセット券
つつじまつり入園券と映像学習館のセット券を販売します。
※詳しくはホームページをご覧ください。

4月上旬～5月初旬



つつじが岡ふれあいセンター

つつじ映像学習館

3Dの映像に振動やミスト、風などが加わった4Dシアターはシーズン以外でも満開のつつじが体感できます。また、ギャラリーには、館林出身の版画家「小暮真望」氏の作品も展示中です。

- 開館：9:00～17:00
(月曜、年末年始除く)
- 料金：大人500円(400円)、
中学生以下は無料
- ※()内は20名以上の団体料金



カフェレストラン (Sugar Hill Cafe)

ゆったりくつろげる席が40席あり、店内ではこだわりのハンバーガーや淹れたてコーヒーなどを楽しむことができます。また、芝生のテラスでは、手ぶらでBBQを楽しむこともできる人気のカフェレストラン。

- 営業：11:00～17:00
(月曜、年末年始除く)
- 電話：0276-52-8306



館林はTVアニメ「宇宙よりも遠い場所(通称:よりもい)」の舞台の一つです。市内にはいくつものアニメスポットが点在しています。

アニメ

宇宙よりも遠い場所

A STORY THAT LEADS TO THE ANTARCTICA



白石結月

三宅日向

玉木マリ

小淵沢報瀬

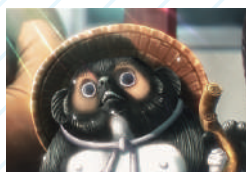
／ 館林アニメアンバサダーに就任！ ／



©YORIMOI PARTNERS

アニメ「宇宙よりも遠い場所」とは

女子高生の主人公(玉木マリ)が、ある理由で南極を目指す同級生らと知り合い、南極に向かう「女子高生南極青春グラフィティ」。平成30年(2018)1月～3月にAT-X、TOKYO MXほかにて放送。監督はいしづかあつこさん、制作をマッドハウスが担当。人物描写やストーリーの質の高さが評価され、平成30年(2018)12月には米紙ニューヨークタイムズの「2018ベストテレビ番組」の海外部門10作品の一つに選ばれました。



狸の置物(茂林寺前駅)



東屋(つつじが岡公園)



東屋(実写)



館林駅



ベンチ(茂林寺山門)



本町2丁目交差点付近

アニメスポットの探訪

館林市内にはアニメに登場した数々のスポットが点在。アニメを見て、実際に登場人物が暮らしている舞台を訪れると作品により深く接することができます。また、市内では作品の公式グッズを販売する店舗もありますので、お土産の購入も楽しめます。

「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」に選定

つつじが岡ふれあいセンター内には、ファンからのメッセージやイラストが並ぶ“よりもい”コーナーを設置。館林市は、(一社)アニメツーリズム協会が選定する「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」にも選定されており、アニメ聖地認定証の展示や記念に押せる「ご朱印スタンプ」も設置されています。



「宇宙よりも遠い場所」×館林市 舞台特設サイト

女子旅

国内最大のカメラ女子コミュニティ
「カメラガールズ」の皆さんに
夏の館林を旅してもらいました。



カメラガールズが体験 花ハスマツリ

城沼に群生するハスの花を觀賞できる花ハス遊覧船は、館林ならではの涼しい景色。約30分かけて城沼をクルージングする様子は、まさにジャングルクルーズそのものです。城沼には古代から自生する希少種も存在します。また、期間中つつじが岡公園内では様々な種類の花ハスを展示します。

花ハス遊覧船

- 運行期間：7/10～8月下旬
- 運行時間：8:30～12:00
- 乗船場所：つつじが岡公園内遊覧船乗り場
- 乗船時間：約30分
- 乗船料金：大人1,000円 小学生以下300円
- ※団体料金(20名以上)大人900円、小学生以下270円。
- 問合せ：城沼観光(株) 0276-73-7800
- ※悪天候時は運休になる場合があります。 B-4



フォトスポットがいっぱい



① 館林駅西口から女子旅スタート! ② 童話「分福茶釜」の舞台茂林寺へ。参道に並ぶ25体の狸像がお出迎え。③ 茂林寺商店街には1,000体近くの狸の置物が。フォトジェニック! ④ 祈りの沼「茂林寺沼」で祈りを捧げる。⑤ 夏になると市役所前の「城町食堂」周辺にカラフルなアンブレラスカイロードが出現。⑥ お昼は人気店「花山うどん」で美味しいうどんを堪能。⑦ 城下町の名残を残す小径散策には着物が映える! ⑧ つつじが岡公園内のSugar Hill Cafeでは、BBQを味わえます。旅の最後の肉&ビールは最高!



観 Sightseeing 光

開催状況については、各施設にお問い合わせ下さい。

発酵

「カルピス」ブランド100周年を記念した見学施設

「カルピス」みらいのミュージアム

アサヒ飲料群馬工場に併設。「カルピス」の歴史や発酵によるおいしさの秘密、製造工程など五感で楽しめる見学ツアーです。

- 見学場所：館林市大新田町166
- 見学：通年（指定日・年末年始除く）10:00～、13:00～、15:00～ ※見学時間は状況により変わる場合があります
- 料金：無料
- 申込み：電話又はインターネット（完全予約制）
(<https://www.asahiinryo.co.jp/entertainment/factory/gunma/tour.html>)
- 電話：0276-74-8593

B-3



製粉

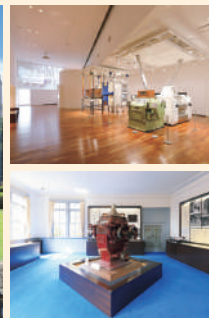
世界的にも貴重な製粉をテーマにしたミュージアム

製粉ミュージアム

日清製粉グループは創業地である館林市に「製粉」をテーマにしたミュージアムを開設。企業の歴史や最新の製粉技術を紹介しています。

- 見学場所：館林市栄町6-1
- 見学：通年（不定休・詳しくはホームページをご確認ください。）
(<https://www.nisshin.com/museum/>)
- 料金：大人200円 小中学生100円
- 申込み：不要（団体は電話受付）
- 電話：0276-71-2000

B-3



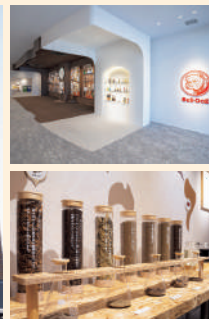
ソース

“ふむふむ、なるほど” がいっぱい! Let's Enjoy Sauce!

ブルドックソース 館林ファクトリー

ブルドックソース120年のあゆみをマンガ風に紹介する「ヒストリー展示室」、見る・知る・香りの「わくわく体験ゾーン」、ソースの香りが漂う高速充填ラインをツアー形式で巡ります。

- 見学場所：館林市大新田町61-5
- 見学：毎月3回（1回定員15名）
- 料金：無料
- 申込み：公式サイト（完全予約制）
(<https://factory.bulldog.jp/>)
- 電話：お申込み、お問い合わせは公式サイトで受付



正田記念館

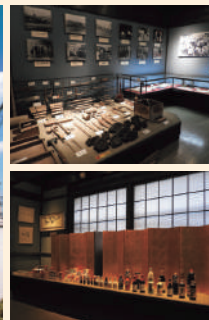
醤油

正田家300年の歴史を鑑賞できる見学施設

館林が誇る国内有数の醤油メーカー「正田醤油（株）」の歴史を感じることができる歴史記念館。正田家300年の家系図に始まり、創業当時の醸造道具や昭和初期のポスターなど江戸時代から明治、大正、昭和にかけての貴重な歴史資料をご覧いただけます。

- 見学場所：館林市栄町3-1
- 見学：通年
- 料金：無料
- 申込み：不要（団体は電話受付）
- 電話：0276-74-8100
- 開館時間：10:00～16:00
- 休館日：土曜・日曜・祝日・夏季休暇日・年末年始

B-3



産 Industry 業

イベント



激グルメ総選挙

日本一暑いまちを逆手にとって、地域の食と知恵を生み出しまちの活性化を図るイベント。期間中、市内飲食店が工夫を凝らした激メニューを提供します。

対象店舗でエントリーメニューを購入して、投票券にスタンプをもらって投票すると素敵な賞品が当たります。

■開催時期：夏（予定）

※「グルメ総選挙」で検索！



麺-1祭り

うどん・ラーメン・パスタ・焼きそばなどの麺料理に加えて、デザート・飲み物など全国から30店程度が集結する大型グルメイベントです。充実したステージイベントも多数用意しております。

食欲の秋に相応しいグルメイベントをぜひご堪能ください！

■開催時期：10月頃（予定）

うどん

館林にうどんの新ブランドが誕生！



館林のうどん 「百年鰻」

風と水の恵みをうけて育った邑楽館林産100%の小麦を、館林で創業した日清製粉(株)の協力のもと製粉した「百年小麦」。この小麦を30%以上使用したうどんが「百年鰻」です。「柔らかいのにコシがある」と評判。

市内うどん店等が加盟している「麺のまち『うどんの里館林』振興会」などの店舗で提供されています。

※グルメカタログで紹介（→P.27）

ラーメン

館林で美味しいラーメンを食べるコト



たてラ

たてラとは「館林で美味しいラーメンを食べるコト」。市内には様々なジャンルの多彩なラーメン店が揃っていますので、ぜひあなた好みのラーメンを見つけてみてください！2019年10月ラーメン店主会「たてラ倶楽部」が結成され、イベント企画や商品開発に取り組んでいます。今後の活動にもご期待！

※グルメカタログで紹介（→P.27・28）

観光農園

多々良フレッシュファーム



多々良沼と群馬県立館林美術館の間に位置するいちご農園（直売所併設）。高設栽培のため車椅子やベビーカーの方でもご利用いただけます。

■場所：館林市日向町1835

■営業：1月4日～5月下旬 10:00～16:00
（直売所は12月10日から）

■料金：中学生以上2,400円 小学生2,200円
3歳以上の未就学児2,000円

■申込み：不要（ただし予約優先 ※週末要予約）

■電話：0276-47-3815

B-2



さくらとこいのぼりの里まつり

桜の名所「鶴生田川」では、春になると両岸に満開の桜を見ることができます。

また、同時に市内各所で4,000匹以上のこいのぼりが宙を舞い、圧巻の光景が楽しめます。平成17年（2005）には、市内全体で5,283匹という世界記録にも認定されました。

●さくらまつり（3月下旬～4月上旬） ●こいのぼりの里まつり（3月下旬～5月上旬）

手筒花火大会

館林藩主榊原氏の出身地三河地方から伝わる迫力満点の「手筒花火大会」。

関東ではなかなか見ることのできない勇壮な光景はまさに必見。

スターマインとの競演も楽しめます。

●7月下旬開催／館林城ゆめひろば

B-3



四季の移ろいを
感じる街



十月桜と秋の紅葉

10月から11月頃にかけて十月桜が、続いて11月中旬から12月上旬頃にかけて紅葉が、旧秋元別邸周辺で見頃を迎えます。紅葉時期には、ライトアップも行われ、あたりは幻想的な雰囲気包まれます。

B-3

城沼・多々良沼の白鳥

城沼と多々良沼では、例年11月中旬から3月上旬にかけて、オオハクチョウをはじめ、コハクチョウなど約200羽の白鳥が飛来します。

城
沼

■観察場所 里沼リゾートHotel KOMORINU 北側
■給餌時間 6:30~7:00

B-4

多々
良
沼

■観察場所 夕陽の小径(多々良沼北東岸)
■給餌時間 9:00~10:00 15:00~16:00

B-2

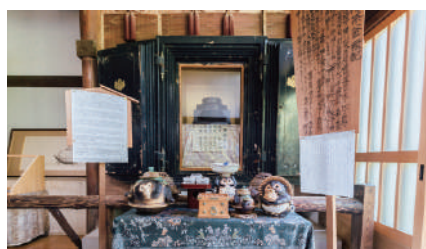
館林では、季節の移ろいと
ともに、豊かな自然と
文化を満喫できます。



祈りの沼 茂林寺沼エリア

C-3

館林市の南部にある沼。茂林寺沼には低地湿原があり、貴重な水生動植物などの自然環境を良好に残しています。また、沼の畔には信仰の拠点として、茂林寺の存在があります。



茂林寺

分福茶釜伝説の舞台になった寺

和尚に化けた貉（むじな）が茶釜をもたらし、福を与えたといわれる伝説があるお寺。茂林寺の歴史や小話を「ぶんぶくガイド」が、無料でご案内（要予約）。参道に並ぶ25体のたぬき像は茂林寺ならではの風景。季節によって浴衣などの衣装に変わり、何度訪れても飽きない観光名所となっている。

■住所：館林市堀工町1570 ■参拝料金：無料／宝物館：大人300円、子ども150円
■参拝時間：9:00～16:00（火・水・木曜定休） ■駐車場：無料（大型駐車場有） ■ガイド問合せ：館林市観光協会（0276-74-5233）

茂林寺たぬきの8つの恵み

- ― 其の一：笠・災いから身を守るため、日頃の備えを。
- ― 其の二：顔人を立て、いつも笑顔で愛想よく。
- ― 其の三：目・正しい目で物事を見極め、周囲に配慮を。
- ― 其の四：腹・慌てず、騒がず、そして大胆な決断力。
- ― 其の五：尾・事の終わりは、私欲を捨て、大きく太くしっかりと。
- ― 其の六：通・誠実な心が信用を得、人が通い実力がつく。
- ― 其の七：徳利・毎日の食事に感謝し、腹八分目で長寿を。
- ― 其の八：金袋・身についた金運は、大きく広く活用する。



いわさぎなみ 巖谷小波の ぶんぶく茶釜の童謡碑

明治期の童話作家・巖谷小波は、茂林寺に伝わる伝説「分福茶釜」を童話化し、明治27年（1894）刊行の『日本昔噺』の中で「文福茶釜」として発表した。それによって、茂林寺の名は一躍有名となった。この碑は「文福茶釜」を童謡化した碑であり、昭和34年（1959）に茂林寺境内に建てられた。



実りの沼 多々良沼エリア

B-1・2

館林市の西北部にある沼で、かつての踏鞴製鉄から名付けられました。大谷休泊らの開拓により、館林地域南部の台地は肥沃な穀倉地帯となり、米麦の二毛作が盛んになりました。



彫刻の小径

38点の彫刻作品が展示される散策路

館林市高根町～松沼町にある散策路。「彫刻の小径」(約2km)は多々良沼公園の松林内にある。多々良沼に程近い多々良保安林は、戦国時代に防風林・防砂林として植林されたものといわれている。「彫刻の小径」事業は平成2年(1990)から始まり、この松林の中の散策路に沿って、館林市や群馬県ゆかりの作家の作品を中心に、38点の彫刻が設置されている。多々良沼をウォーキングで周回しながら、芸術作品を鑑賞できるスポットとして親しまれている。



内陸古砂丘

良好な形状を残す
内陸河畔砂丘

利根川が後退する古東京湾を追って、かつての浅海底に流路を伸ばしていく。利根川は東毛地域に館林砂層を堆積し、さらに荒川などとともに入宮台地地域へも砂を運んだ。内陸古砂丘は、この時期の利根川が形成した自然堤防の砂層である。



大谷休泊の墓

農業生産力向上に貢献した
中世の開拓者

多野郡平井城主上杉憲政の臣。館林城主長尾顕長の招聘を受け、金山城主由良成繁の臣荒山小左衛門らの協力を得て上休泊堀(太田市内ヶ島町より明和町大輪に通じる用水)、独力で下休泊堀(多々良沼より明和町江黒に通じる用水)を開拓した。また防風林として、太田金山より150万本の松を移植・植栽し、大谷原山林を造成した。



多々良沼釣棧橋（釣りスポット）

多々良沼北岸の釣棧橋は関東有数の釣りスポット。コイやヘラブナなどの釣り場として多くの方が訪れているほか、夕日のビュースポットとしても知られ、美しい光景を目にすることができる。ぜひ釣りやボートで里沼を体感しよう。

■日釣料金：船釣り2,500円／陸釣り500円

■手漕ぎボート（2人乗り）：2,000円（1回）

■電話：日向漁業協同組合 0276-73-8696



麦文化

館林をはじめとする群馬県東部は、利根川と渡良瀬川にはさまれており、その氾濫によって肥沃な土壌が培われてきた。また、日照時間の長さや赤城山から流れる良質な伏流水が豊富だったことも、麦文化が発達するのに貢献した。

川魚食文化

沼が点在する館林地域では、昔から「川魚食文化」として川魚料理が食されてきた。館林の行楽文化としては、川魚料理をふるまうことが特徴。川魚の中でもナマズが有名で、その白身の肉は柔らかく癖のない味を楽しめる。天ぶらをはじめ、小麦粉をあえて揚げたタタキアゲは、この地域の代表料理となっている。



守りの沼 城沼エリア

B-3・4

館林市中央部にある沼。近世館林城築城時には天然の要害となりました。南岸に国指定名勝「躑躅ヶ岡（つつじ）」、北岸には「お辻伝説」を伝える善長寺があります。また、沼の周囲には「文学の小径」、「朝陽の小径」があり、歩きながら四季の景観を感じられます。



尾曳稲荷神社

キツネの築城伝説とともに語り継がれる稲荷神社

館林市尾曳町にある元村社。天文元年（1532）赤井照光が、館林城築城の際、城郭の北東隅（鬼門）の方位にあたる地に、守護神として創建したと伝わる。そのため当時の館林城本丸と相対し、神社建築としては珍しい西向きの社殿となっている。明治6年（1873）当時の館林城周辺を描いた「館林城絵馬」も奉納されている。



尾曳の渡し

城沼の南岸と北岸を結ぶ
渡し船

4月中旬～5月初旬には、つつじが岡公園と尾曳駐車場・善長寺との間を結ぶ定期船が出航する。船頭の案内などを聞きながら「里沼」を体感してみてもいい。

なお、7月上旬～8月下旬には城沼のハス群をかき分けて進む花ハス遊覧船に変わる。

善長寺

つつじが岡の起源
「お辻・松女」を伝える寺

城沼北岸にある寺院。城沼南岸のつつじが岡の対岸に位置する。つつじが岡伝説にまつわる「お辻・松女」の供養塔、観音堂や館林城主榊原忠次の母「祥室院殿の墓」もある。ツツジの時期には、善長寺から対岸のつつじが岡公園を結ぶ渡船も運行され、多くの観光客で賑わう。





館林城跡

近世には榊原康政、徳川綱吉をはじめとする譜代・親藩の居城となった。現在、城の遺構は大半を失っているが、一部土塁が残っている。

善導寺

徳川四天王「榊原康政」の眠る寺

城沼北東岸にある寺。天正18年(1590)館林城主となった榊原康政は、善導寺を新しい城下(現在の本町二丁目)に移転して菩提寺とした。平成2年(1990)に現在地に移転。



旧上毛モスリン事務所

館林市第二資料館内にかつての事務所が展示されている上毛モスリン株式会社は、明治中頃に設立され町の発展に関わってきた織物会社。事務所は木造2階建の洋風建造物で、「ぐんま絹遺産」にも登録。

2階大広間は、日本遺産「里沼」情報発信センター(わくわく里沼ビレッジ)として活用され、里沼ストーリーの展示や動画を放映。



田山花袋 | 小説「蒲団」『田舎教師』など



PROFILE

明治4年(1871)12月13日生。明治19年(1886)に上京。文学を志し、和歌を学ぶかたわら、西欧文学へ目を開く。明治30年代に自然主義文学の確立を唱え、明治40年(1907)「蒲団」の発表により実現する。以後、『田舎教師』など数多くの作品を発表し、自然主義を代表する作家となった。紀行作家としても知られる。



田山花袋記念文学館

■住所: 館林市城町1番3号
■開館時間: 9:00~17:00
■休館: 月曜、休日の翌日等。
■入館料: 220円(中学生以下無料)
花袋資料の収集・保存・展示を行い、業績をさまざまな角度から紹介する。



田山花袋旧居

館林市第二資料館内にある旧居は、花袋が幼少期を過ごした家。花袋の作品にはふるさとの情景が印象深く描写されており、幼少期から文学的な感覚が育まれていたといえる。

近藤沼・蛇沼エリア

C-2・C-3

いずれも、令和3年（2021）に新たに追加認定された構成文化財。館林市南西部の近藤沼は農業に由来する「実りの沼」として、南部の蛇沼周辺は縄文土器群の出土にみられる「祈りの沼」として、古くから人々の暮らしと直結していた。



近藤沼

「ホリアゲタ」による農業が営まれた沼
今は釣りやレジャーで賑わう

館林市の南西部にある周囲約2.5kmの沼で、櫛の歯状の水田と水路が存在した。これは沼底の土を掘り上げて造ったことから「ホリアゲタ（掘り上げ田）」と呼ばれ、人々の暮らしを支えてきた。沼辺に建つ「吉田丑五郎翁之碑」がその歴史を伝え、周辺の農地に名残の水路を見ることができる。現在は、釣りやアスレチック、BBQなどのレジャーで年間を通じて賑わう。

■釣料金：500円（1日）

■電話：近藤沼漁業協同組合 0276-74-5208

近藤沼公園

近藤沼の畔に位置する公園。遊具を設置しているほか、春から秋はBBQ、夏はジャブジャブ池で水遊び、ローラースポーツも楽しむことができる。

■所在地：館林市下三林町1628外

■駐車場：無料

■問合せ：館林市緑のまち推進課
(0276-47-5155)



蛇沼

絶滅危惧種のオニバスが咲く、環境教育の場

館林市の南部にあり、「祈りの沼」茂林寺沼の東にある周囲約1kmの細長い沼。蛇沼周辺には湿原（蛇沼湿原）が残る「里沼」の原風景を残すとともに、隣接する台地上には縄文時代から続く開堀遺跡がある。出土品の縄文土器群は多彩な装飾を持ち、沼辺で生きた縄文人の暮らしと「祈り」の心をうかがい知ることができる。また、蛇沼湿原では、絶滅危惧種にも指定され全国的にも珍しい「オニバス」が自生していたことから、この貴重な自然環境を後世に引継ぐため、地元中学生やボランティアらが管理し、環境保全活動が行われている。

■所在地：館林市上赤生田町（館林市立第四中学校南側）

※蛇沼を見学の際は、館林市立第四中学校のフェンス西側の未舗装の道路からお入りください。

里沼を感じる観光体験

体験や遊びを通してさらに深まる里沼の魅力。

歴史、自然、食文化など、見て触れて楽しめる観光体験をピックアップしました。



うどん打ち体験 (もり陣)

茂林寺前にあるうどん店「もり陣」では、シルクパウダーを練りこんだ艶やかな「まゆ玉うどん」作り体験ができます。もちろん、作ったうどんはその場で茹でてお召し上がりいただけます。(6名まで・要予約)

【申込み・お問合せ(もり陣)】

住所 館林市堀工町1560

電話 0276-75-0490

営業時間 11:00~17:00 (火曜定休、月曜不定休) C-3



館林名物のうどんを打ち、
実りを味わう



里沼サイクリングでゆっくり
リトリート体験を!



無料レンタル自転車 ぽんチャリ

市内5カ所で、無料のレンタル自転車「ぽんチャリ」の貸出を行っています。

里沼の周遊や市内観光に便利なレンタル自転車をご利用いただけますので、ぜひご活用ください。(利用の際には、身分証明書の提示が必要です)

一部施設では電動自転車の貸出も開始しました。

各貸出場所や詳細については25ページまたはホームページをご覧ください。

【お問合せ(館林市観光協会)】

電話 0276-74-5233



座禅体験 (茂林寺)

「祈りの沼(茂林寺沼)」の畔にある茂林寺では、座禅の体験ができます。心を落ち着かせ、リフレッシュしてみませんか。(要予約)

【申込み・お問合せ(茂林寺)】

住所 館林市堀工町1570

電話 0276-72-1514

体験時間 毎月第3日曜日6:00~7:00

(団体予約は別途相談) C-3



バードウォッチング (里沼)

茂林寺沼、多々良沼、城沼の「里沼」は、それぞれ特色ある自然環境を有しており、野鳥の宝庫でもあります。季節ごとに鴨やカワセミ、白鳥などさまざまな野鳥を見ることができ、ぜひ観察に訪れてみてください。

【お問合せ(館林市観光協会)】

電話 0276-74-5233



館林紬の文化発信拠点

この街に1000年続く伝統織物「館林紬」。綿花栽培から機織りまで、その魅力をまるごと楽しめる新拠点「ツムギトエンガワ」が誕生しました。歴史と現代が交差するこの場所で、あなたらしい伝統の楽しみ方を見つけてみませんか?

【お問合せ(合同会社紬・組)】

住所 館林市仲町5-47

開館日 不定期(Instagramを参照)

Instagram@tatebayashi_tsumugi



自然の宝庫「里沼」
ならではの自然体験

大人も楽しめる 日本最大級のプラネタリウム



向井千秋宇宙飛行士を紹介する展示のほか、ムーンウォーカーなどのさまざまな体験型の展示物をとおり、科学を楽しく学ぶことができます。直径23メートルの大型ドームで見る迫力満点のプラネタリウムもお楽しみください(投影日時はHPを参照)。

■住所: 館林市城町2番2号 ■電話: 0276-75-1515

■開館時間: 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

■休館日: 月曜(休日を除く)、休日の翌日(土・日・休日を除く)、年末年始

■入館料: 大人330円、中学生以下無料

■プラネタリウム観覧料: 大人550円、小中学生220円、幼児無料

■プラネタリウム観覧付入館券: 大人800円(令和8年3月末現在)

※最新の料金は、HPでご確認ください。



B-3

里沼から宇宙へ 向井千秋記念子ども科学館

館林は宇宙にも近いんです。館林出身の宇宙飛行士・向井千秋氏が名誉館長を務める科学館は子どもたちに大人気の施設。また、里沼周辺がそれぞれ「新日本歩く道紀行100選」に選ばれており、美しい自然や文化を感じながら里沼巡りすることができます。

城沼

新日本歩く道紀行100選認定コース

歴史・文化と朝陽の小径

歴史の小径では、町屋の雰囲気を残した住宅など、徳川綱吉公ゆかりの城下町の風情を味わえます。朝陽の小径は、城沼と朝日の美しい景観が望め、つつじが岡公園や善導寺などもあり、歴史文化と自然風景を楽しめます。



田中正造記念館



旧二業見番組合事務所

コース例

館林駅東口駅前広場	つつじが岡公園
↓ 0.4 km	↓ 1.9 km
毛塚記念館	旧秋元別邸
↓ 1.8 km	↓ 1.2 km
館林城跡土橋門	武蔵館・田中正造記念館
↓ 0.9 km	↓ 0.6 km
尾曳稲荷神社	旧二業見番組合事務所
↓ 1.0 km	↓ 0.9 km
善長寺	館林駅東口駅前広場
3.5 km	



B-3・4

新日本歩く道紀行100選認定コース

夕陽と彫刻の小径

多々良沼と夕日の美しい景観が望めるコース。館林美術館や高台、浮島弁財天があります。また、松林の中にある「彫刻の小径」には、38点もの彫刻が置かれ、森林浴をしながら芸術作品を楽しめる散策路となっています。



群馬県立館林美術館



浮島弁財天と白鳥

コース例

群馬県立館林美術館	群馬県緑化センター
↓ 0.6 km	↓ 1.0 km
彫刻の小径	野鳥観察棟
↓ 2.7 km	↓ 0.5 km
邑楽町多々良沼公園(ガバ沼)	群馬県立多々良沼公園
↓ 1.0 km	↓ 2.3 km
浮島弁財天	群馬県立館林美術館
1.4 km	



茂林寺沼

新日本歩く道紀行100選認定コース

自然と童話のふるさとの道

茂林寺を起点として、茂林寺沼や低地湿原などで、多くの野鳥や動植物を見ることができます。また、トイレや休憩スペース、食事処が各所にあり、歩きやすいコースです。



茂林寺



蛇沼のオニバス

コース例

茂林寺	大法院
↓ 0.07 km	↓ 0.45 km
茂林寺公園(木道)	蛇沼湿原
↓ 0.81 km	↓ 1.5 km
野鳥の森	熊野神社
↓ 0.82 km	↓ 0.8 km
水質管理センター	茂林寺
0.45 km	



CALENDAR



館林まつり

本町通りを中心に行われる夏祭り。民踊流しや迫力ある大人みこし、パレードなどをご堪能ください。



つつじまつり

館林の春といったらつつじまつり。400年近く前から花見が行われてきており、館林が最も色づく時期です。

歳時記

四季折々の多彩な行事は館林の魅力の一つです。ぜひ年間を通じて様々な表情の館林を体験してください。



10月

市民菊花展
時期／10月下旬～11月中旬
場所／茂林寺
麵1祭り
時期／10月中旬(予定)
場所／館林城ゆめひろば

9月・8月

七夕まつり
時期／8月7日
場所／本町通り～下町通り

7月

花ハスマつり
時期／7月10日～8月15日
場所／つつじが岡公園内
館林まつり
時期／7月中旬
場所／本町通り～下町通り
手筒花火大会
時期／7月下旬
場所／館林城ゆめひろば
城町アンブレラスカイ
時期／7月上旬～8月下旬
場所／館林役所敷地内城町食堂前
激グルメ総選挙
時期／7月上旬～8月下旬(予定)

6月

花菖蒲まつり
時期／6月上旬～6月下旬
場所／旧秋元別邸

5月・4月

つつじまつり
時期／4月上旬～5月初旬
場所／つつじが岡公園



手筒花火大会

館林藩主榊原氏の出身地三河地方から伝わる迫力満点の手筒花火。スターマインも同時に楽しめます。



花ハスマつり

ハスの遊覧船は館林ならではの涼しい景色。期間中、つつじが岡公園内では様々な種類の花ハスを展示します。



城町アンブレラスカイ

館林の暑い夏を彩るカラフルな傘がフォトジェニックな場所を提供してくれます。ライトアップされた傘も違った雰囲気を楽しめます。

TATEBAYASHI EVENT



七福神めぐり

館林近隣に祀られる七福神が、史蹟巡りも兼ねて巡拝できます。七カ所の御印が集まると一年の御利益があるとか。



紅葉ライトアップ

「闇夜に浮かぶ鮮やかな紅葉」というフレーズが似合うような幻想的なライトアップが楽しめます。



産業祭

館林の農業・工業・商業等の生産者・事業者と消費者が一体となって、交流を図る「暮らしのまつり」です。

3月

さくらまつり
時期／3月下旬～4月上旬
場所／鶴生田川周辺・多々良保安林・近藤沼公園
こいのぼりの里まつり
時期／3月下旬～5月上旬
場所／鶴生田川・近藤沼・茂林寺川・多々良沼

2月・1月

七福神めぐり
時期／1月3日～1月31日
場所／市内神社・寺
どんど焼き
時期／1月15日に近い日曜日
場所／堀工町ふれあい運動場
初市
時期／1月18日
場所／仲町通り～かごめ通り

12月

つつじが岡公園イルミネーション
時期／12月中旬～1月下旬
場所／こもりぬきキャンプ場西広場
白鳥飛来
時期／～2月
場所／城沼・多々良沼

11月

産業祭
時期／11月第3日曜日
場所／つつじが岡公園
紅葉ライトアップ
時期／11月下旬～12月上旬
場所／旧秋元別邸



こいのぼりの里まつり

鶴生田川会場を中心に、4,000匹以上の鯉のぼりを掲揚。平成17年に5,283匹の掲揚数で世界記録に認定されました。



さくらまつり

市内3会場において開催され、鶴生田川両岸を中心に多くの人で賑わい、夕方からはボンボリが点灯されます。夜桜もまた幻想的です。



つつじが岡公園イルミネーション

里沼リゾートHotel KOMORINUキャンプ場西広場を中心に約20,000個のLEDライトによるイルミネーションが楽しめます。(イルミネーションの内容は予告なく変更する可能性があります。)

"熱い"まち満喫プラン

夏は館林まつりや手筒花火で館林が“熱い”季節。館林流の涼でさらに館林の夏を満喫しませんか。

Summer

夏

SPOT 1 花ハス遊覧船

城沼に群生するハスの花の目の前を通る大迫力の遊覧船。花が大きく開く午前中が見頃。風を感じて、気分もリフレッシュ。



SPOT 2 つつじ映像学習館

世界初!つつじの4Dシアター。1年を通してツツジを体験できます。つつじのほか、日本遺産「里沼」の映像作品も完成しました。



SPOT 3 館林グルメ堪能

市内飲食店が工夫を凝らした激メニューを提供します。詳細は「グルメ総選挙」で検索。



SPOT 4 向井千秋記念子ども科学館

宇宙飛行士・向井千秋氏を紹介する展示のほか、日本最大級のプラネタリウムは大人も楽しめます。



SPOT 5 城町アンブレラスカイ

色とりどりの傘が館林の夏に華を添えます。暑さも忘れる鮮やかな光景です。また、ライトアップされた光景もぜひご堪能ください。



花巡りプラン

春は館林が最も鮮やかに色づく季節。ツツジをはじめ咲き誇る様々な花に目移り必至!

Spring

春

SPOT 1 歴史の小径散策

城下町の雰囲気を残す散策路。歴史的風情にあふれた建物や、貴重な文化財が今もなお点在しています。



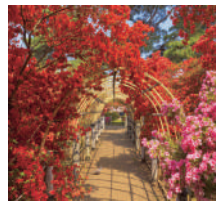
SPOT 2 さくらとこいのぼりの里まつり

世界記録にも認定された圧巻のこいのぼり!メイン会場は鶴生田川兩岸です。兩岸に咲く桜と織りなす景色は圧巻です。



SPOT 3 つつじまつり

世界一と称されるツツジを間近でご覧ください。期間中は様々なイベントを開催します!



SPOT 4 つつじ映像学習館

館内にある「里沼」展示コーナーでは、写真や図を使い、「里沼」や「ツツジ」について分かりやすく紹介しています。



SPOT 5 茂林寺

参道に並ぶ25体のたぬき像は1体として同じものではなく、それぞれ個性的です。



自転車です市内を周ろう



無料レンタル自転車

ぽんチャリ

※定休、貸出時間は各施設によって異なります。

里沼リゾートHotel KOMORINU

■住所: 館林市花山町2916-4
電話: 0276-60-4131

B-4



館林駅前(東口)

館林ヒルズホテル
■住所: 館林市仲町1-7
電話: 0276-61-3600

B-3



茂林寺周辺

茂林寺商店街(参道前)
■住所: 館林市堀工町1570
電話: 0276-73-0632

C-3



つつじが岡公園

つつじが岡ふれあいセンター
■住所: 館林市花山町3181
電話: 0276-74-5233

B-3



多々良沼周辺

県立多々良沼公園管理事務所
■住所: 館林市松沼町30-10
電話: 0276-56-9978

A-1



自然と史跡プラン

里沼に育まれた自然風景と
実りを体感。
寺社を訪ねながらの七福神
巡りもおススメです。



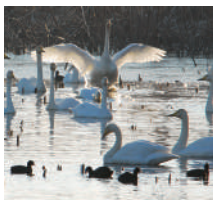
ミュージアム巡りプラン

「製粉」「美術」「ソース」「発酵」と
異なる4つの「ミュージアム」を巡り、
館林の歴史や産業、全国的に著
名な美術作品を見学できます。



SPOT 1 白鳥観察 (城沼・多々良沼)

館林は野鳥観察の地としても有名。
最盛期となる1月～2月には、城沼と
多々良沼に200羽近くの白鳥が飛来
します。



SPOT 2 いちご狩り (多々良フレッシュファーム)

多々良沼の畔に位置する観光農園。
高設栽培のため、誰でも気軽に収穫
体験ができます。
(営業期間:1月～5月)



SPOT 3 川魚グルメ (市内店舗)

館林の「実り」として、古くから親しまれ
「里沼」の象徴でもある川魚グルメ。
ウナギやナマズ、コイなどを堪能
ください。



SPOT 4 七福神めぐり (寺社各所)

1月3日～31日は館林七福神巡りを
開催。この期間のみ宝船色紙に参拝
印を押して周れます。幸せの七福神を
追い求めてみては？



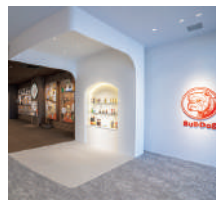
SPOT 5 つつじが岡公園 イルミネーション

12月中旬～1月中旬の間、こもりぬカ
ンプ場西広場周辺でLED電球を使った
イルミネーションが行われ、幻想的な光
景を演出します。ホテルKOMORINUの
レストランで夕食もお楽しみください。



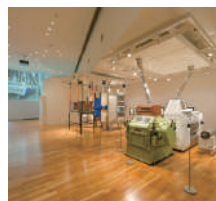
SPOT 1 ブルドックソース 館林ファクトリー

ブルドック120年のあゆみをマンガ
風に見て学び、スパイスの香り体験も
できるツアーを楽しもう。
※見学は事前予約制



SPOT 2 製粉 ミュージアム

日清製粉グループが創業の地、館林に
開設した世界的にも貴重な製粉をテー
マにしたミュージアム。小麦を使った
ワークショップなども開催しています。



SPOT 3 麦文化を堪能！

製粉ミュージアムを見学したら、
うどんやラーメンなどの粉食を堪能
しましょう。「百年饅頭」「たてラ」を
要チェック！



SPOT 4 「カルピス」みらいの ミュージアム

みんな大好き「カルピス」の魅力が盛
りたくさん！大人も子どもと一緒に楽し
めます。
※見学は事前予約制。



SPOT 5 群馬県立館林 美術館

多々良沼畔にある、「自然と人間」を
テーマとした美術館。近くには「彫刻
の小径」もあり芸術ウォーキングも
楽しめます。

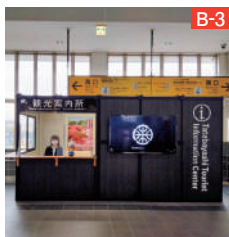


地元の野菜やお土産が揃う / JA邑楽館林農産物直売所ぽんぽこ

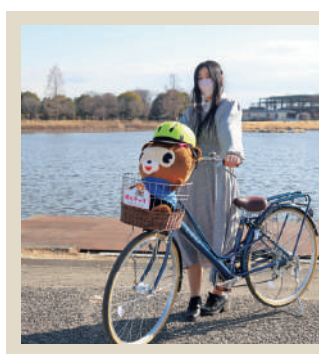


B-4 館林周辺で採れた新鮮
な野菜の他、地元特産品
も販売する人気の観光
スポットです。
時間：9:30～18:00(通年)
(月曜定休(祝祭日は営業します))
住所：館林市楠町1987-1
電話：0276-70-7788

館林駅を降りたらまずはこちらへ / 館林駅観光案内所



B-3 館林駅西口改札前にあ
る観光案内所。旬の観光
情報をご案内します。
時間：9:00～16:00
13:00～14:00休所
(水曜定休)
住所：館林市本町
2-1-1
電話：0276-71-8711



グルメカタログ



もり陣

館林市堀工町1560
0276-75-0490 **C-3**

百年小麦にシルクパウダーを練りこんだまゆ玉うどんはツヤツヤな麺が特徴。体の中からキレイに♪



丸木屋

館林市新宿1-10-3
0276-72-0957 **C-3**

北海道産の小麦粉・自家製粉の玄そばを使っただん・そばを提供しています。



平野屋そば店

館林市本町4-5-1
0276-72-0076 **C-3**

うどんは適度なコシとモチモチ感のある手打ち麺。イペリコ豚の旨みのある汁とのコラボをお楽しみ下さい。



うどん本丸

館林市本町3-8-1
0276-74-0145 **B-3**

お店だけに使用している生めんを使用している他、季節の食材、なまずの天ぷらもご用意しております。



花山うどん

館林市本町2-3-48
0276-74-7766 **B-3**

うどん天下一決定戦で見事3連覇を果たした群馬の老舗。「鬼ひも川」が看板メニュー。



うどん

館林のソウルフード"うどん"をご堪能ください。



城町食堂

館林市城町1-1
0276-55-1480 **B-3**

定食・うどんにパンケーキ、夜はイタリアンと1日中グルメを楽しめるお店。宴会・貸切も承ります！



社会福祉法人 協栄会 のぞみ

大泉町上小泉383
0276-20-1294

百年小麦を使用し、冴えのある淡黄色で光沢があり滑らかな喉越しの優れた一品です。（ご購入は電話にて。）



楠 庵

館林市楠町1918-3
0276-75-2000 **B-4**

純手打ち、厳選小麦の風味・甘味・コシのあるうどんです。名物大根そば、揚げたて天ぷらも好評です。



(有)原田製麺 うどんCafé はらだ

板倉町板倉1640
0276-82-0063 **C-5**

麺-1グランプリで2連覇した「きゅうりの冷や汁うどん」を中心に美味しいうどんと珈琲をご提供しています。



めん処 川伊

館林市高根町739
0276-73-7734 **B-2**

上州館林の郷土愛に溢れたお店です。四季折々のうどんの食べ方を提案・提供しています。（来店前に問合せ要）



天 華

館林市西高根町32-5
0276-75-3362 **B-2**

厳選した小麦粉を使用し、カツオ・ソウダカツオ・昆布と味のバランスを考え仕上げています。



金 正

館林市東美園町22-16
0276-73-5060 **C-3**

「しょうゆ生姜ラーメン」すっきりとした醤油ラーメンに特別に配合したおろし生姜が入る。



麺屋 かねぎ

館林市松原2-16-13
0276-73-7660 **C-3**

「塩白ネギラーメン」動物系と魚介のWスープにゴマ油で和えた風味豊かな白ネギが乗る。



自慢亭

館林市大手町6-33
0276-72-2739 **B-3**

「みそチャーシューメン」創業52年の味、オープンで焼いたチャーシューと自家製味噌の合わせ技一本。



ラーメン

バラエティに富んだラーメンはどれもレベルが高く人気店です。



申子庵

館林市野辺町1015-4
0276-80-3315 **D-1**

小麦の風味を感じるつるつる喉越しの良い麺。そばとはまた一味違う「蕎麦屋が作ったうどん」をぜひお試しください。



クリタ食品

館林市近藤町631-3
0276-72-2702 **C-2**

各種種類の製造・販売をしており、群馬県産小麦を使用した商品も用意しています。



ラーメンおと

館林市本町二丁目9-20
090-3099-4883 **B-3**

元八百屋さんが練り出す野菜シャキシャキのタンメン。自家製麺中太麺と、濃い目のスープが、食欲をそそります。



麺や武将

館林市大谷町1053-19
0276-58-3928 **C-2**

「武将ラーメン」ガッツリ系麺は極太麺。浅草開化楼を使用し、スープは豚と鳥のWスープで熱々の一杯をご提供。



らーめん 民ちゃん

館林市本町2-17-32
0276-74-5959 **B-3**

「爆絶!!みそチャーシュー麺(週末限定)」じっくりと熟成された自家製味噌の旨味と辛さは爆絶級。



寿々や

館林市大谷町1052
0276-72-1179 **C-2**

「火遊びタンメン」辛味噌ベースのたっぷり野菜タンメン。クセになる辛さは数段階。



ラーメン厨房 ばればれ

館林市緑町1-32-8
0276-72-7774 **C-3**

「しおラーメン」銘柄鶏のスープと、百年小麦を使用した自家製麺の相性は抜群。



和み屋

館林市大手町6-4
B-3

「天草大王 塩鶏そば」天草大王をふんだんに使った"あっさり塩味"は細麺140g。

古くから小麦と川魚文化に育まれ、食のまちとしても
発展してきた館林。その中でも、「うどん」「ラーメン」「川魚」
「和菓子」を厳選してご紹介します。



川魚料理せきぐち

館林市当郷町1975-37
0276-73-1470 **B-4**

鰻はもちろん、鯉のあら
い、鯉の天ぷらも好評
です。店舗から眺める
城沼などの景色も魅力
です。



魚又

館林市日向町1149-2
0276-72-0888 **B-2**

風土に生まれ、愛され
る川魚料理。創業以来、
代々受け継がれてきた
懐かしい郷土の味をお
楽しみください。



魚玉

館林市下三林町1233-1
0276-73-4888 **D-2**

四代目店主が心を込め
てお焼きします。写真は
鰻重並(大盛)です。
現在、お持ち帰りのみ
で営業中です。



上海亭

館林市台宿町1-42
0276-73-1617 **B-3**

「もやしラーメン」
醤油ベースのスープに
もやしあんかけを合わ
せた逸品。中太麺によ
く絡む。



麺屋 照の坊

館林市青柳町1063-1
080-7809-1151 **C-3**

「煮干しそば」
8種類の煮干しと水だけ
で作ったスープはシン
ブルにして濃密な味わ
い。



晃明堂

館林市緑町1-13-15
0276-73-2034 **C-3**

北海道産の小麦の他、
国産の材料を使用し、
全て手作りにこだわっ
た素朴な風味が好評
です。



川魚やまだ

館林市緑町1-12-16
0276-72-1872 **C-3**

炭火で焼いた肉厚のう
なぎを秘伝のタレで焼
いています。



川魚まちだ

館林市西本町7-11
0276-72-1163 **B-3**

代々引き継がれた味を
守って営業しています。
ぜひご賞味ください。



ふかわ

館林市本町1-2-13
0276-72-0730 **B-3**

昭和10年以來、家族だ
けで営業している小さ
な鰻屋です。甘みを抑え
た昔の味付けになって
います。



和食亭 ひふみ

館林市松原2-19-62
0276-72-3811 **C-4**

創業80余年。地元名物
の川魚料理は、特上うな
重、うな重、なまずの天
ぷらなどを用意してい
ます。



きむらや

館林市羽附町1546
0276-72-4323 **C-4**

厳選した小豆、砂糖、地
下水を使い、きめ細か
いこしあん、風味豊か
な粒あんを使い和菓子
を提供しています。



田月堂

館林市仲町12-32
0276-72-0085 **B-3**

選び抜いた北海道産の
小豆と白いんげん豆を
使い自家製で作った風
味豊かな「あんこ」が自
慢です。



和菓子 さのや

館林市西本町13-26
0276-72-1070 **B-3**

最高の素材を使用し手
間暇をかけて、皆様が
笑顔になるような美味
しい和菓子作りを行っ
ています。



三桝屋総本店

館林市本町1-3-12
0276-72-3333 **B-3**

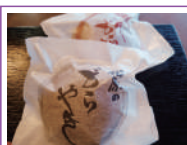
昔より館林のお土産、ご
進物品として喜ばれて
いる麦落雁とシルクサ
ブレを製造販売してい
ます。(写真はマロンパイ)



伊勢屋本店

館林市本町2-3-40
0276-72-0558 **B-3**

原料にこだわりつつも
低価格でのご提供を心
掛けています。味はもと
より安全にも抜かりあ
りません。



和菓子 片桐

館林市松原1-20-18
0276-72-4146 **B-3**

和菓子の美味しさ、安
心・健康を追求・継承す
る手作りのお店です。ご
来店お待ちしております。



三桝家総本舗 三の丸本店

館林市本町3-9-5
0276-72-0100 **B-3**

200年余の歴史を誇る
麦落雁は当家7代目丸
山与兵衛が創製した逸
品。日本遺産「里沼」構
成文化財の一つです。

館林市 広域マップ



館林市は、「鶴舞う形」といわれる群馬県の東南部、ちょうど鶴の頭の部分に位置しています。
県内で最も東京に近く、東北自動車道や東武鉄道により約1時間でアクセスできることから、多くの人が訪れています。

市内詳細図



1

2

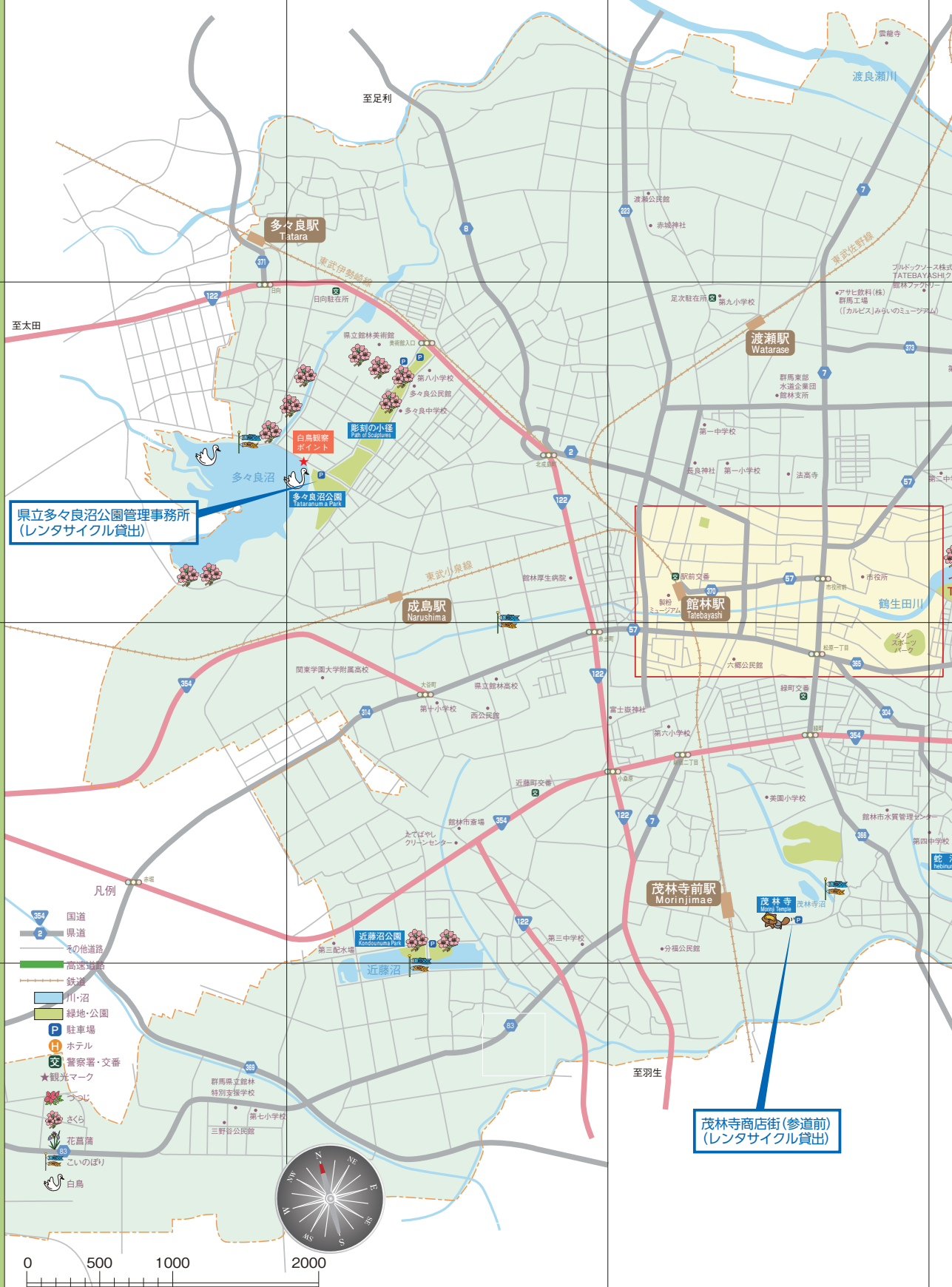
3

A

B

C

D





Access to Tatebayashi



電車の場合

[所要時間] 約 1時間20分
 館林駅 ↔ 東京駅
東武伊勢崎線特急 [所要時間] 約 1時間
 館林駅 ↔ 浅草駅
東武伊勢崎線特急 [所要時間] 約 50分
 館林駅 ↔ 北千住駅
東武伊勢崎線普通 約 30分
 館林駅 ↔ 久喜駅 ↔ 大宮駅
 JR普通 約 20分

車の場合

■東北自動車道
[所要時間] 約 35分
 館林IC ↔ 浦和IC
 47km
■関越自動車道
 (高崎JCTにて北関東自動車道へ)
[所要時間] 約 30分
 太田桐生IC ↔ 館林市街
■北関東自動車道
[所要時間] 約 30分
 佐野田沼IC ↔ 館林市街

高速バス

館林と羽田空港を約 2 時間で結ぶ「空港バス」が毎日出ているので、飛行機を利用して国内外へ旅行や出張をする際にも便利です。

(乗り換えなし)
 館林市役所前 ↔ 羽田空港ターミナル
 バス停

タクシー

館林市内の移動にタクシーをご利用ください。

■館林タクシーセンター
 TEL0276-75-3333

■明和交通
 TEL0276-84-3325

■北関東タクシー
 TEL0120-590-845

市内のグルメ情報は

「たてばやしMinori
グルメサイト」

をチェック! <https://tbgourmet.jp/>



「うまい」
実りを掲載中!



観光全般に関するお問合せ

館林市経済部つづきのまち観光課 TEL 0276-74-5233

日本遺産のストーリーや構成資産に関するお問合せ

館林市教育委員会文化振興課 TEL 0276-71-4111

編集・発行 館林市「日本遺産」推進協議会
令和8年3月発行



館林市観光協会



SATO-NUMA.JP

